

令和5年度 都立南多摩看護専門学校 学校関係者評価

学校評価項目8項目について、学校関係者の評価平均点は以下のとおりである。
全項目、評価基準「満たしている」以上の評価であり、改善に関する意見はなかった。

評価項目	評価 (小数点第一位)	評価コメント
I 学校運営	3.8	・都民の健康の担い手たる看護師の育成という理念に基づき、年度当初に組織目標を共有し、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も感染防止に取り組みつつ、改正カリキュラム2年目の円滑な運営に向けた具体的な取り組み内容を掲げ、実践したことが評価されたと思われる。 ・朝の全体ミーティングを通して感染情報やその他の情報共有に努め、組織全体で課題や目標達成に取り組んでいる点などが評価された考える。
II 教育課程・教育活動	3.8	・新カリキュラム開始2年目として、リーダー会、教務会等で、情報交換しながら、教務総括課長代理を中心に、新カリキュラムの意図を反映できるよう、旧カリキュラムの運営と合わせて教育課程運営を計画的に丁寧に展開したことが評価されたと考える。 ・新型コロナウイルス、インフルエンザの感染拡大による影響は多少あったが、各実習施設との緊密な調整により病棟変更等に対応していただくことができ、臨地実習を実施できた。 今年度は、従来の対面式実習協議会を開催した。感染対策を踏まえた施設利用や具体的な指導について検討し、円滑な運営が行えた。また、感染対策や事故防止等、情報共有し、リスクマネジメントしたことが高く評価された考える。
III 学習成果	3.8	・ほとんどの学生が教育目標・到達目標とも達成したと回答したのは、校内実習や、臨地での貴重な実習の機会を大切に、目標達成に向けて学生同士が学びあうよう、単位取得に向けた指導を継続したことが評価された。 ・学年別活動計画に基づき、感染防止対策を行いながら補講等を実施し、特に3年生については、個別の学習状況を確認し、強化学習対象者支援を徹底して行った。また、オンラインの活用や、超強化対象者に対してマンツーマンで個別指導を実施したことで、成績向上の成果を得たことが評価された。 ・学年担当を中心に、欠席の多い学生や成績低迷者への個別面接を実施し、学生のモチベーションの維持・向上を図ったこと、退学者が年間1名であったことなどが評価された考える。
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	3.8	・対面での学校説明会を5回開催し、参加者が計258人で、昨年度より16名増したこと、学校説明会においては、在学生が受験生の質問への回答や具体的な学校生活について説明することで、参加者から大変好評であったことが評価された。 ・年間計画に基づき、一年時から計画的な就職ガイダンス等への参加を促し、今年度はブース形式の就職説明会も病院の協力を得て実施し、学生に好評であった。個々に合った就職先の決定に向け、エントリーシートの記載指導、模擬面接等、具体的に職員全体で取り組んだ。学生の都内就業を支援し、95%以上が都内就業決定となったこと、助産師学校進学支援の結果、2名合格が評価されたといえる。 また、卒前シミュレーショントレーニングで、状況アセスメント、注射準備等について技術トレーニングを計画・実施したことも、技術力の維持・向上につながったと評価する。 令和4年度卒業生対象に、ホームカミングデーを病院の協力のもと70%以上の参加を得て開催し、早期離職防止を支援した。、悩みを抱え相談に来校できるようにし、個別相談対応実施したことも評価された結果と考える。
V 学生生活への支援	3.8	・校医やカウンセラーによる健康面の支援体制を整え、きめ細かい面接相談等実施し、健康管理している点、新型コロナウイルス感染5類移行に伴い、感染対策を実施して、体育祭、学校祭などの学校行事を開催し、学年を超えた交流等を実施できた点、サークル活動を再開し、支援したことなども評価された結果と言える。
VI 財政、施設設備の管理	3.8	・大規模改修に向けて、仮校舎、本校舎計画案について、医療人材化担当者と調整を図り、業者との打ち合わせを計画に基づき実施した。 ・特定天井工事は、授業等、学校運営に支障なく計画に沿って無事終了し、4階玄関の自動ドア工事、大教室の椅子改修工事については、授業に支障がない期間で3月中に終了予定であること、その他、施設設備の維持・保全是適宜実施した点が評価された考える。
VII 教職員の能力向上	3.6	・各カテゴリーで教育目標を達成できるように授業案や実習指導方法などを検討し、連携しながら取り組んだが、教員の欠員、新カリキュラムの開始2年目に伴う業務量の増加で、参観時間の確保等は難しさがあった。通常通りに授業参観は実施できなかったが、新任教員の模擬授業実施、本時の授業参観は確実に実施できた点、新任1年目教員1名に対しては、プリセプター教員による、年間を通じた講義や実習指導、その他の教育活動についても支援した点が評価されたと考える。 ・研修等への参加への支援については、:職場内研修として「困った学生の対応と教職員のストレス対処法について」開催19人参加、授業研究7人、新任研修A1人、新任研修B1人、面接技法研修2人、研究技法研修(職場研修)3人、職場内研修(学内参加のみ)、学会・研修(校外)参加5人であった。学会等の学びを教育活動に生かせるよう、共有した点も評価されたと考える。
VIII 広報・地域活動	3.6	・学校説明会を5回開催し、計451人参加(昨年度より193名増)在校生との懇談会等、評価が高かった。 ・高校への学校説明会、模擬授業参加は16回参加し、社会人は若干減少したが、推薦、一般入試は前年度より応募者は増加した。 ・「魅力発信プロジェクト」動画は学生の協力により1本追加され、14本となった。再生回数は延べ1万1千回を超え効果的なPR活動を行うことができた点、東京都看護職員復職支援研修「学校に戻って体験コース」として「点滴静脈内注射の準備と実施」を実施。離職期間が10年と長かった肩を含む8名が参加し、アンケート結果から、復職に向けての自信につながったことが評価されたと考える。
IX 独自項目		今年度は特に設定しなかった。

※学校関係者評価委員 6名